

アジア大都市ネットワーク 21 シンガポール宣言 ※仮訳

我々、バンコク、ハノイ、ジャカルタ、マニラ、ソウル、シンガポール、台北、東京及び新規会員都市であるトムスク及びウランバートルの代表は、2012年6月30日にシンガポールで開催されたアジア大都市ネットワーク 21 第 11 回総会に参加した。我々は、開催都市としてこの会議を成功に導いたシンガポールに対し、深い感謝の意を表する。

我々はアジア大都市ネットワーク 21 の共同事業及び各都市が直面する共通の課題について、率直かつ友好的な議論を交わした。この会議の閉会にあたり、議論により到達した共通理解を通じて、我々はここに以下のことを宣言する。

- 1 トムスクとウランバートルは、アジア大都市ネットワーク 21 規約第 7 条に基づき、アジア大都市ネットワーク 21 の新規会員都市として承認された。
- 2 アジア大都市ネットワーク 21 は、これまで、アジア旅客機の開発促進、観光やスポーツの振興、危機管理や感染症対策、ICT の活用や人材育成などの多彩な分野で着実な成果を挙げてきた。我々は、アジアの大都市間でより強固な連帯と協力を推進するという本ネットワークの目的を改めて確認し、共同事業の実施を通じてアジア地域の一層の繁栄に貢献していく。
- 3 アジアが今なお旺盛な経済成長を続けるなか、多くのアジアの都市は、環境負荷の増大などの課題や高齢化などの社会的問題に直面している。住民の生活の質を持続的に改善していくためには、経済成長と暮らしやすい都市環境との両立を図りながら、あらかじめ成長戦略の中に環境的、社会的ニーズを組み込んでおくことが重要である。我々は、経済成長に伴う環境的・社会的課題を克服するための先進的なインフラ整備、新たな環境・エネルギー政策及び社会政策についての知見、経験及び技術を共有しながら、引き続き持続可能な都市づくりを進めていく。
- 4 都市の緑は、質の高い生活環境を確保し観光やレクリエーションの機会を提供するなど都市に多くの恩恵を与える。都市の緑と生物多様性増加に向けた戦略と、それに対する地域社会のサポートを得ることは持続可能な都市開発の鍵となる。シンガポールでは、より緑豊かで生物多様性の豊かな都市を目指すことを「庭園の中の都市」ビジョンに組み込んでいる。この戦略の成果は、都市の生物多様性に関するシンガポール・インデックスなどの評価ツールを活用して確認している。我々は、各都市の知識、経験及び技術の交換を通じて、都市の緑化及び生物多様性の拡大を推進し見守っていく。
- 5 第 12 回総会は、2013 年の適切な時期にハノイにおいて開催する。

2012 年 6 月 30 日
シンガポールにて